

施工後、現場対応でリモコン相互干渉防止にする場合 (06Z1・Z2(CES9053・9063)用)

1. 施工後の対応

万一、連立トイレに正規品のみを取り付けて誤作動した場合は、現場で特注品に切り替えることができます。この場合は、必ずリモコンと本体に特殊コードラベルを貼ってください。(メンテナンス性向上のため)
特殊コードラベルの品番は、[特殊コードラベル一覧](#)をご確認ください。

2. 連立トイレの配置例

正 規 品	(タ イ プ 1)	(タ イ プ 2)	正 規 品	(タ イ プ 1)	(タ イ プ 2)
(タ イ プ 3)	(タ イ プ 4)	(タ イ プ 5)	(タ イ プ 3)	(タ イ プ 4)	(タ イ プ 5)

3. 連立トイレ対応方法

※設定変更が下記説明書で行えない場合は、**TOTOメンテナンス**へご依頼下さい。(有償)
 ※作業途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。

<<本体側の設定方法>>

リモコン特殊コード切り替え方法(ウォシュレット本体側)

手順

※途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。

1

本体操作部の **運転 入/切** を10秒以上押し続ける

10秒後に全てのランプが**2秒間点灯**します。

本体表示部

TOILET

● 運転
● 温水
● 便座
● 節電

緑色点灯

TOILET

● 運転
● 温水
● 便座
● 節電

運転・温水・便座
→ 緑色点灯
節電 → 橙色点灯

TOILET

○ 運転
○ 温水
● 便座
● 節電

ランプが全点灯から点灯
または点滅になったら、最
初からやり直してくださ
い。

この間**2秒**

本体操作部

運転 入/切 ビデ 入/切 おしり 入/切

手順3まで押したまま

2

運転 **入/切** を押したまま本体の全ランプが点灯(2秒間)

すると、**すぐに** **ビデ 入/切** を5秒以上押す。

5秒後に手順3の設定コードのようにランプが点灯します。

運転 入/切 ビデ 入/切 おしり 入/切

3

[※失敗した場合は、もう一度手順1からやり直してください。]

運転 **入/切** を押したまま、**おしり 入/切** を押す。

おしり **入/切** を押すたびに標準→特1→特2…特9→標準と設定が切り替わります。

本体表示部

●…点灯 ×…消灯

	標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7	特8	特9
運転	●	×	●	×	●	×	●	×	●	×
温水	●	●	×	×	●	●	×	×	×	●
便座	●	●	●	●	×	×	×	×	×	×
節電(タイマーおまかせ)	×	×	●	×	×	×	×	●	●	●

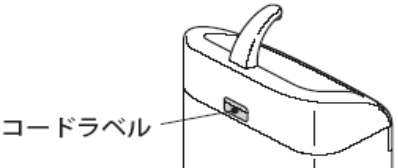
本体操作部

運転 入/切 ビデ 入/切 おしり 入/切

4

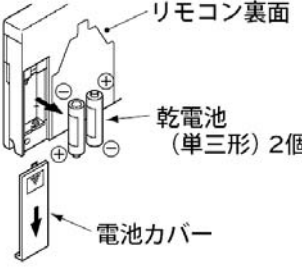
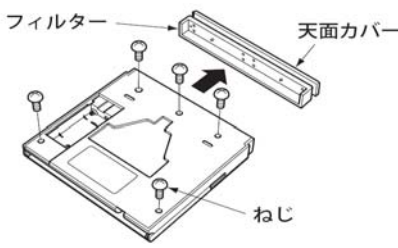
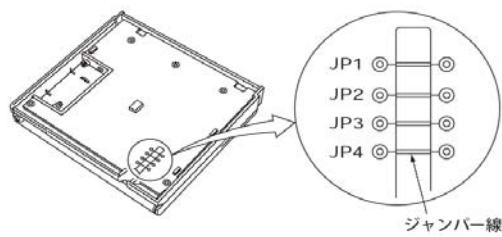
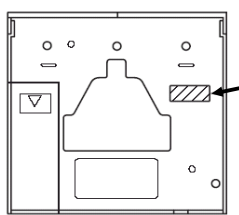
運転 **入/切** から手を離れた時点で設定したコードになります。

※手順1、2の操作で設定したコードを確認することができます。

手順	リモコン特殊コード切り替え方法(ウォシュレット本体側)
5	<p data-bbox="204 168 651 235">ウォシュレット本体の裏面に切り替え後の特殊コードラベルを貼る。</p>  <p data-bbox="917 224 1069 257">コードラベル</p>

※リモコン側の切替作業終了後、必ず作動確認を行ってください。

<<リモコン側の設定方法>>

手順	リモコン特殊コード切り替え方法(リモコン側)																																																																		
1	 <p>①リモコンハンガーからリモコンを取りはずす。 ②電池カバーを開けて、乾電池を取りはずす。 ③「止」SWを押したままにして、液晶表示が消えることを確認する。 (乾電池が入ったままだと切替わらない場合があります。)</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>ご注意!!</p> <p>電池を必ず抜いて作業を行ってください。 電池を抜かないと連立モードに切り替わりません。</p> </div>																																																																		
2	 <p>リモコン裏面のねじ5本をプラスドライバーではずし、裏板を取りはずし、天面カバーとフィルターを取りはずす。</p>																																																																		
3	 <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>ご注意!!</p> <p>◎ジャンパー線の切断は、切りまちがえないように注意して行ってください。 ◎ジャンパー線の切りくずがリモコン内に入らないように注意してください。</p> </div> <p style="text-align: center;">◎: つながったまま ×: 切断</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="border: none;">コード</th> <th style="border: none;">標準</th> <th style="border: none;">特1</th> <th style="border: none;">特2</th> <th style="border: none;">特3</th> <th style="border: none;">特4</th> <th style="border: none;">特5</th> <th style="border: none;">特6</th> <th style="border: none;">特7</th> <th style="border: none;">特8</th> <th style="border: none;">特9</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="border: none;">ジャンパ線</td> <td style="border: none;">標準</td> <td style="border: none;">特1</td> <td style="border: none;">特2</td> <td style="border: none;">特3</td> <td style="border: none;">特4</td> <td style="border: none;">特5</td> <td style="border: none;">特6</td> <td style="border: none;">特7</td> <td style="border: none;">特8</td> <td style="border: none;">特9</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">JP1</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">JP2</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">JP3</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">JP4</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table> <p>リモコン基板上的の4本のジャンパー線を、左表にしたがってニッパで切断することにより特1～特9へ切り替える。</p>	コード	標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7	特8	特9	ジャンパ線	標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7	特8	特9	JP1	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×	JP2	◎	◎	×	×	◎	◎	×	×	◎	◎	JP3	◎	◎	◎	◎	×	×	×	×	◎	◎	JP4	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	×
コード	標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7	特8	特9																																																									
ジャンパ線	標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7	特8	特9																																																									
JP1	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×																																																									
JP2	◎	◎	×	×	◎	◎	×	×	◎	◎																																																									
JP3	◎	◎	◎	◎	×	×	×	×	◎	◎																																																									
JP4	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	×																																																									
4	<p>①裏板をねじでリモコンに取り付けて、天面カバー・フィルターを取り付ける。</p> <p>②リモコンに乾電池を入れて、リモコンハンガーに取り付けてください。 ◎乾電池の入れかたは、手順1を参照してください。</p>																																																																		
5	 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>例</p> <p>リモコンコード特1</p> <p>このリモコンは特1タイプの本体のみを操作できます。</p> </div> <p>切り替え後の特殊コードラベルを貼る。 ◎リモコンの裏面に貼付してください。</p>																																																																		

※1 ウォッシュレット本体側の切替作業終了後、必ず作動確認を行ってください。

※2 基板内部を扱う作業になりますので、静電気及び取り扱いには十分ご注意ください。
(内部精密機器を破壊するおそれがあります。)